

法人（事業所）理念		● フレアコーポレーションは、住み慣れた地域で安心して暮らしていくお手伝いをすると共に、お客様の気持ちに寄り添いながら、その人らしく生き生きとした豊かで潤いのある日常生活をサポートしていきます。				
支 援 方 針		● ご家族との連携を強化しつつ、興味や関心のある活動を企画し様々な体験を提供する中で、利用者のニーズや特性を理解しながら計画を作成します。また、定期的に見直しを行い、進捗を確認しながら支援を行います。				
営 業 時 間		平 日	9:00～18：00まで〔山本・伊丹〕 / 12：00～18：00まで〔逆瀬川〕		送迎実施の有無	あり（ 宝塚市・伊丹市： 各片道20分くらいまで。）
		休 校 日	9:00 ～ 18：00まで〔 山本・逆瀬川・伊丹 〕			
		支 援 内 容				
本 人 支 援	健 康・生 活	● 運動の重要性：簡単に体を動かせるレクを通して、運動の楽しさを体験させます。 ● 身だしなみや身の回りの整理整頓：基本的な身だしなみや、自分の持ち物を整理する方法を教えます。 ● お友達との関わり方：遊びやグループ活動を通して、他者とのコミュニケーションを促進していきます。 ● 自己肯定感の向上：成功体験を積ませる事で、自己評価を高める支援をします。 ● 危険回避のための学び：交通ルールや身の回りの安全について教えます。				
	運 動・感 覚	● バランス感覚を養う：トランポリン・バランスボール・平均台などを使って、バランス感覚を養う活動を行います。 ● リズム運動：音楽に合わせて体を動かすダンスやリズム遊びで、楽しさと運動を組み合わせます。 ● 視覚トレーニング：色や形を使ったゲームや絵本の読み聞かせ等を通じて、視覚的感觉を高めていきます。 ● 聴覚活動：音楽を聞いたり、楽器を使つての音の違いやリズム感覚を養います。 ● グループゲーム：チームで楽しむゲームを通して、社会性を養います。				
	認 知・行 動	● 課題解決のトレーニング：簡単なパズルやゲームを通して、問題解決のスキルを養っていきます。 ● 自己管理の為の目標設定：短期・長期目標を設定しながら、達成に向けた具体的な計画を立てます。 ● グループ活動：チームでの遊びやゲームを通して、協力する事の大切さを教えていきます。 ● 積極的な声掛け：本人の努力等に対して、積極的な声掛けを行う事で自信を持てるようにします。 ● タイムマネジメント：時間の概念を理解する為に、時計（タイマー）を使った活動を行います。				
	言 語 コミュニケーション	● 語彙力を増やす活動：絵本の読み聞かせや言葉遊び（しりとり等）を通して、語彙を増やしていきます。 ● 対話の練習：スタッフとの会話を通して、質問の仕方や応答の仕方を学んでいきます。 ● 会話のマナーを学ぶ：話し手と聞き手の役割を伝える事で、相手の話を聞く大切さを教えていきます。 ● 絵カードの活用：特に言葉の出にくいお子様に対して、絵カードを使った視覚的な支援を行います。				
	人 間 関 係 社 会 性	● 会話の練習：挨拶や質問など、基本的なコミュニケーションを取る機会を設けます。 ● 感情の共有：日々日常の出来事や体験を共有する時間を設けて、相手の気持ちを理解する練習をします。 ● マナー教育：公共の場でのマナーやルールを教えていきます。 ● ルールの理解と遵守：遊びやゲームを通して、ルールを理解し、学ぶ事的重要性を教えます。 ● 自己評価の促進：本人の持っている強みや改善点を振り返る事で、自己理解を深めていきます。				
家 族 支 援		● 本人の利用時の様子や発達状況等を送迎時や面談の機会を通して、お伝えし共有していきます。 ● 家族の状況やニーズは変化していくため、定期的にフォローアップを行う事で、必要に応じて支援内容を見直していきます。				
地域支援・地域連携		● 地域連携の強化：利用する相談支援事業所や併用する放デイと情報共有しながら、支援の充実に向けて意見交換を行います。				
移 行 支 援		● 日頃から学校と情報共有や意見交換を行う事で、必要に応じて支援内容等を確認していきます。 ● 日常生活に必要なスキル（料理・掃除・金銭など）を出来るだけ実践的に行之、移行後の自立に向けた準備をします。				
職員の質の向上		● 定期的な研修の実施：障がいに関する知識や支援技術等の研修を定期的に行う事で、職員の専門性を高めます。 ● ケース会議の実施：定期的にケース会議を開く事で、具体的な支援について話し合い、職員間の情報共有や課題の解決能力を高めていきます。 ● 資格取得の支援：資格取得に向けた支援を行う事で、職員の専門性を向上させます。				
主 な 行 事 等		● 季節に応じた行事：春（お花見等）・夏（夏祭りレク）・秋（ハロウィン関連のレク）・冬（クリスマス関連のレク） ● 運動:簡単な体操やゲームを通して体を動かします。 ● 料理体験：簡単な料理と一緒に作ります。 ● おでかけ体験：公園等に出かけて自然とふれあいます。 ● 農業体験：畑で野菜を育てて、収穫します。 ● クラフト体験：季節に合わせた工作を楽しみます。				

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	あんずキッズ 逆瀬川			
○保護者評価実施期間	2025年11月10日 ～ 2025年12月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 人	(回答者数)	23 人
○従業者評価実施期間	2025年11月10日 ～ 2025年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 人	(回答者数)	9 人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士（5名）、精神保健福祉士（1名）、教員資格（1名）など資格を持ったスタッフが多く在籍している事から、その分野に詳しい助言をもらう事が可能です。	・スタッフ間で意見交換をしやすい、風通しの良い職場環境作りを心掛けています。	・スタッフ数が多い事から、全員が顔を合わせる事が難しい状況である。その事を踏まえて支援の充実を図る為にも、顔を合わせる機会を増やしていきたい。
2	・施設敷地内の庭には、丸太平均台・ミニアスレチックがあり、自由に外遊びが出来るため、安全に色々な運動を楽しめます。（敷地内から飛び出す事のないように工夫をしています。） ・畑や花壇もあるので、花・植物に触れ自然を感じる事が出来ます。	・スタッフが見守りしやすい環境、お子様が休憩しやすい環境を作っています。夏場の日差しをよける為の parasol の設置や休憩しやすい様に、ベンチも置いています。	・花壇の野菜や花の入れ替えをこまめに行う事で、お子様が季節を感じながら外遊びが出来るようにしていきたい。
3	・教室には用途に合わせた多様な部屋がある事から、勉強や運動、工作など他者に邪魔される事なく、各自やりたい事をそれぞれの部屋で行う事ができる点。	・各部屋ごとに何をするスペースかをラベルで表示し、利用用途を分かりやすく表示しています。	・引き続きスタッフ全員で、より良い空間作りの提案や意見を出し合っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常災害の発生に備え、年2回避難訓練を行っているが保護者の方に伝わっていない様子が伺える点。	・長時間利用の時（土曜日・祝日の休校日）に行う事がほとんどのため、その利用日の保護者様にしか避難訓練の事が伝わっていないため。	・日常利用での放課後に訓練行う事は現実的に無理があるため、今後長期休み時の平日にも一度、行う事を検討していく。
2	・男性スタッフの割合が、女性スタッフと比べてかなり少なくなっている点。（利用して頂いてるお子様に男の子が多い事から、支援の充実においても男性スタッフの必要性を感じる。）	・利用者に男の子の割合が多い割には、男性スタッフの数が少ないため。ホームページや募集広告を見た際に、応募しにくい状況があると思われる。	・支援の充実に向けて、男性スタッフが応募しやすいホームページや募集広告の内容をスタッフ全員で考えていく。
3	・専門的分野の支援が弱い点。	・専門的分野のスタッフがいらない事もあるが、それを補う為にどうするかを考え提案していく事が重要だと考える。	・スタッフ全員で知識を増やしながら、幅広い教材を作成し利用者に提供していく。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	あんずキッズ 逆瀬川		公表日		令和 8 年 2 月 4 日			
			利用児童数		：27人			
					回収数		：23人	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	0	0	・庭や遊具もあり、勉強用の落ち着ける部屋もあるのでありがたい。	・より一層、お子様に使いやすい環境をスタッフ全員で考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2	0	2	・とても手厚く見てもらっています。 ・普段見る事がないので分からない。	・適切な配置数である事を周知していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	0	・教室内は快適にして頂いているが、時々お散歩や公園、買い物など遊びに行けると嬉しいです。	・教室内は全面バリアフリーで、より一層部屋の用途を分かりやすくしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0	・清潔感があって心地よく過ごしています。	・今後もこの状態を継続していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3	0	1	・子供の興味に合わせた遊具教材を用意してくれています。 ・どれくらい子供の事を理解してもらえてるのか判断できない。	・スタッフ全員が理解できるように支援していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	1		・支援プログラムと支援内容に差が出ないように取り組んでいます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0	・送迎時での報告になるので、どれくらい子供の事を理解してもらえてるのか分からない。	・保護者様から要望を伺い、スタッフ間で支援方法を考えた内容で計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	1		・本人支援においては、5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」を取り入れて計画を作成してます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1	0	0		個別支援計画の内容に沿って支援を行います。（スタッフ全員が、計画の内容を把握出来るようにしてあります。）
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	0	0	・長く通所させてもらっていますが、色々なプログラムを用意してもらっていると思います。	・利用者様に喜んでもらえるプログラムを今後も考えていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	2	11	—	・交流をしていません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1	0	0		契約時に重要事項説明で利用者負担等の説明を実施しているが、全員に理解してもらえるようにスタッフで努力していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	4	1	0	・紙面でのやりとりでした。	・支援計画の訂正および確認をして頂いてから、サインをもらう形になっています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	2	11	—	・現在は、行っていません。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0	・連絡帳や送迎時に伝えてもらっている。	・スタッフ全員が共通理解が深められるように努力していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	1	3	・面談はなかったが、支援者会議で話を伺っている。	・今後、利用時の見学も取り入れたいと考えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	5	11	—	・開催していません。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	4	・いつも丁寧に迅速に対応して頂いている。	・常に対応できるように心がけていきます。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	2	0	0	・送迎時に少し話をできるが、ゆっくりお伺いする機会がない。	・保護者さまにその日の内容を詳しく報告できる工夫をスタッフ全員で考えていきます。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	4	<div>・ホームページやSNSで、様子を見る事が出来ています。</div> <div>・LINEでやりとりが出来るようにしてほしい。</div>	・HP上での月1回の行事予定更新、ブログ及びインスタグラムでの活動報告を続けていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	0	0	0		・個人情報の書類は事務所にて保管し、スタッフ全員が秘密厳守を心掛け十分注意して取り扱いしていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	0	5		・定期的な訓練の必要性をスタッフ全員で理解し、訓練を続けていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	0	8	<div>・いつやるのか実施の報告がないので分からない。</div>	・定期的な訓練の必要性をスタッフ全員で理解し、訓練を続けていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	2		・安全を確保した上で支援しているが、保護者様全員に理解してもらえるようにスタッフで努力していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	2	<div>・以前にケガをした際、連絡説明が丁寧にされました。</div>	・事故やケガ等が発生した際には、速やかに連絡させていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	<div>・家にいるような安心感がある。</div> <div>・1回も嫌がる事なく楽しく通ってくれている。</div>	・意見、ありがとうございました。結果を継続できるように支援していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0	<div>・毎週の通所を楽しみにしている。</div> <div>・特に土曜日のおやつレクを楽しみにしています。</div>	・意見、ありがとうございました。結果を継続できるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0	<div>・親子共に満足しています。</div> <div>・子供の様子や変化を教えてくれるのありがたいです。</div>	・満足してもらえる支援をスタッフ全員で考えていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あんずキッズ 逆瀬川		公表日		令和 8 年 2 月 4 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースを確保しながら、利用用途によって部屋分けをしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準通りに配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室内は全面バリアフリーで、各部屋ごとに何をするスペースかをラベルで表示し、利用用途を分かりやすく表示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃・消毒で清潔さを確保し、子ども達が活動しやすい生活空間にしています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		部屋数は確保できています。	部屋の用途を分かりやすく表示していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		施設内ミーティングで報告と改善点を報告し、毎日出勤時に申し送りノートで、前日の確認が出来るようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回事業所評価を実施しています。	意見を反映できる体制を整えていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングや日々の業務の中から出てくる意見を検討し改善に向けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在は、行っていません。	今後、必要があれば検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内スタッフ研修にとどまっている事が多く、外部研修の参加も勧めていきます。	外部研修の参加を促していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者様の要望に基づき支援内容を決定し、個々のお子様に合った支援内容を記載しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者様の要望に対して、スタッフで対応方法を検討し、意見を集約してから計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書は共有できる状態になっている。	計画を意識して支援が行えるように考えていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			全スタッフが共通理解できる・しやすいアセスメント方法を検討していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者様の要望に対して、施設の支援方法を考え、5領域の視点を踏まえた上で、個別支援計画書を作成しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムは、スタッフのアイディアを取り入れ、準備等は分担して作業を進めています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節や行事に合う工作を多く取り入れていきます。（保護者の方にも何をしたかが分かるように、持ち帰れる工作を多くしています。）		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団活動を中心に行っているが、その中から課題を見つけて、個別支援計画書を作成しています。	個別活動のニーズも保護者様に確認していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		利用予定のお子様とスケジュールの確認を行ってから、各部屋の見守り担当を決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	その日、気づいた点を報告して頂き、申し送りノートを活用して全スタッフに注意点を共有できるようにしています。	毎回その日の終了後に、打ち合わせが必要か確認していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別記録表・業務日報に記録を残し、支援の改善等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年2回6ヶ月おきのモニタリング、個別支援計画書の見直し作成をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスの提供すべき支援、「本人支援」・「家族支援」・「移行支援」・「地域支援・地域連携」を組み合わせています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日々のスケジュールに加えて、自由遊び、学習プリント、外遊びなど自ら選べる工夫をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所と連絡を取って、年に何回か会議に参加していますが、子供の状況を把握している者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	体制を整える事が出来ていません。	今後、必要があれば体制作りを検討していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者を通して、情報共有が出来ています。（必要に応じて、下校時刻等を学校に確認する事があります。）	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	情報共有が出来ていません。	就学前の情報に関しては、保護者の方から頂く書面記録で把握しています。今後、必要に応じて検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	事例がありません。	今後、要望があれば保護者様に確認の上、支援内容を提供していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	設けていません。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	機会はありません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	出来ていません。	機会があれば参加の検討をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	共通理解できている家庭と出来ていない家庭があります。	全ての保護者と共通理解を持てるように努力していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	出来ていません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時に支援内容・利用方法・施設の説明をして、契約時に重要事項説明で利用者負担等の説明を実施しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時に保護者様から、要望（その後半年おきに）を聞いた上で施設の支援方法を考えています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		保護者の方から同意して頂いた上で、署名してもらっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があった場合は、出来る限りの助言は行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	交流の機会は設けていません。	今現在、そういった機会はないが必要があれば検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情に対する対応は契約時に説明し、苦情があった際には迅速に対応できるようになっています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行事予定や活動報告は、HP・SNSを活用して発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の書類は事務所にて管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者とは基本、連絡帳を利用して情報交換を行っています。	スタッフ全員が、意思疎通が取れるよう心掛けていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今現在、そういった機会はないが必要があれば検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、事業所に保管しています。（保護者にまで丁寧に周知できていません。）	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメントシートで、状況を把握し、スタッフ全員に周知しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		医師の指示書ではなく、保護者から記入頂くアセスメントシートによる対応。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・安全管理に注意しながら、支援しているが保護者様全員に浸透するようにスタッフで努力していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		・安全確保について家族と連携が図れていない為、出来るようにしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットは記録に残し、ミーティング及び申し送りノートで共有しています。	定期的に読み直しもするようにしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内ミーティングの中に、研修を取り入れて適切な対応ができるようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束はしていません。クールダウン出来るオープンスペースを用意しています。	